

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月29日		記入者		連絡先	2613
平成18年度部名	保健福祉部		課名	地域医療課		課長名 近藤 敏男
平成19年度部名	福祉部		課名	地域医療課		課長名 川野 佐一郎
事務事業名	休日柔道整復施療所運営費補助金					
予算上の事務事業名	休日柔道整復施療所運営費補助金					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	12320		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます					
基本施策名	第3節 市民医療の充実					
施策名	第2施策 救急医療体制の充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
休日柔道整復施療所運営費補助金交付要綱						
3 個別計画の概要				概要		
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	サービス提供			5 事業開始年度	平成4年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
休日における捻挫、脱臼、打撲などの患者に対し、応急施術を提供するための施療所を確保する。					市民	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
<ul style="list-style-type: none"> ・施療日数 71日 ・施療時間 午前9時～午後5時 ・施療場所 市内北部及び南部に各1か所 ・患者実績 494人 						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・医科については、相模原メディカセンター及び南メディカルセンターで初期救急を実施している。 ・歯科については、休日急患歯科診療所で初期救急を実施している。 						
8 事業費の推移 〔単位：千円〕						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	807	807	807	807	807	
一般財源	807	807	807	807	807	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	404	403	403	403	403	
事業コスト合計	1,211	1,210	1,210	1,210	1,210	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	休日柔道整復施療所運営費補助金			対象名称 と単位	市民(人)	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	1,211	1,210	1,210	1,210	1,210	
対 象 数	620,653	624,121	628,864	669,955	674,000	
単位あたり経費(円)	2	2	2	2	2	
前 年 度 比		0.99	0.99	0.94	0.99	

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	開設率（％）	指標式と指標の説明	開設日 / 開設予定日（休日、年末年始）× 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	71.0	71.0	71.0		
目標	71.0	71.0	71.0	72.0	72.0
目標達成度（％）	100.0	100.0	100.0		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	患者数（人）	指標式と指標の説明	患者数合計		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	344.0	462.0	494.0		
目標					
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		休日における急病患者に対する体制の確保は市民にとって大変重要なことであり、今後とも応急施術を提供するための診療所を確保する必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
市ホームページなどを活用し、休日柔道整復施療所の事業についてさらにPRを図る必要がある。					
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			